

8

イニシャルしおり

デザイン・制作：森美也子



【用意するもの】

マーカー

(ペン先が 3.5cm 程度の幅の広いもの)、
白紙、色画用紙 (厚紙)、
のり、はさみ (波型、ギザギザ型など)、
穴あけパンチ、クラフトパンチ、
リボン、ラミネート紙、
ラミネーター

【作り方】

- ① 見本の書体を参考に、マーカーで白紙にイニシャルを書き、ハサミで丸く切りとる。
- ② ①を色画用紙にのりで貼りつけ、イニシャルからひとまわり大きくなるように、丸く切りとる。
- ③ ②を短冊サイズに切った色画用紙の上部にのりで貼りつける。
- ④ 短冊部分にクラフトパンチでカットした飾りを貼りつける。
- ⑤ しおりをラミネートし、余分なラミネート紙をしおりの形に切り落とす。
- ⑥ 穴あけパンチなどでしおりに穴をあけ、リボンを通して結ぶ。

イタリック体の基礎 ～マーカーを使って～

●マーカーについて

一般的なマーカーには、2mm、3.5mm など、いろいろな幅のものがある。インクに顔料系と染料系があるが、顔料系のインクの方が、色を重ねることもでき、速乾性もあるためカード制作などには適している。

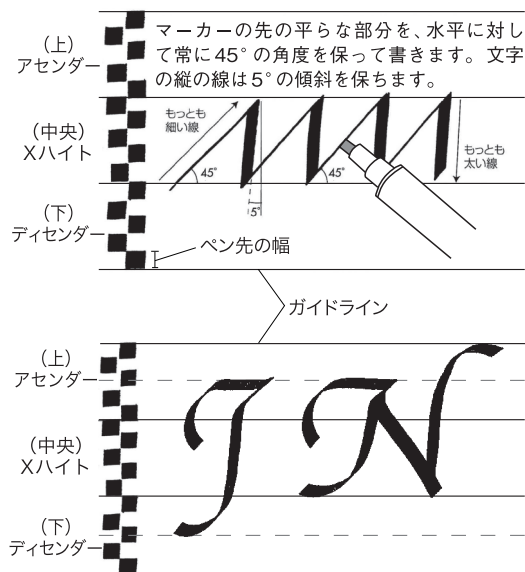
※ガイドラインとマーカーの先の角度

バランスのとれた文字を書くために、鉛筆などで書く案内線をガイドライン (右図の実線) という。

イタリック体には、使うペン先の幅の 5 つ分を単位とした 4 本のガイドラインがあり、基本の文字の高さ (中央) を「Xハイト」、その上を「アセンダー」、下を「ディセNDER」と呼ぶ。

※大文字の書き方

大文字を書く場合、下図のようにアセンダーとディセNDERの、それぞれの高さの中間にガイドライン (右図の点線) を引き、文字の高さの目安にする。



8 イニシャルしおり

イタリック体の書体見本

